

出水市行政改革推進委員会

第 1 回 会 議

(第二部会)

令和 3 年 8 月 2 3 日 (月) 午後 1 時 3 0 分

出水市役所 2 0 1 会議室

会 次 第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介

5 委員長選出

6 議 事

行政評価の外部評価について

外部評価施策の説明（担当課へのヒアリング）

7 閉 会

1 行政改革推進委員会について

(1) 概要

社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現を推進するため、出水市が行う行政改革の推進並びにこれに関連する事項を調整・審議する附属機関。

平成18年の市町村合併時から設置されており、平成30年度からは行政評価市民委員会※と統合。

※ 行政評価市民委員会

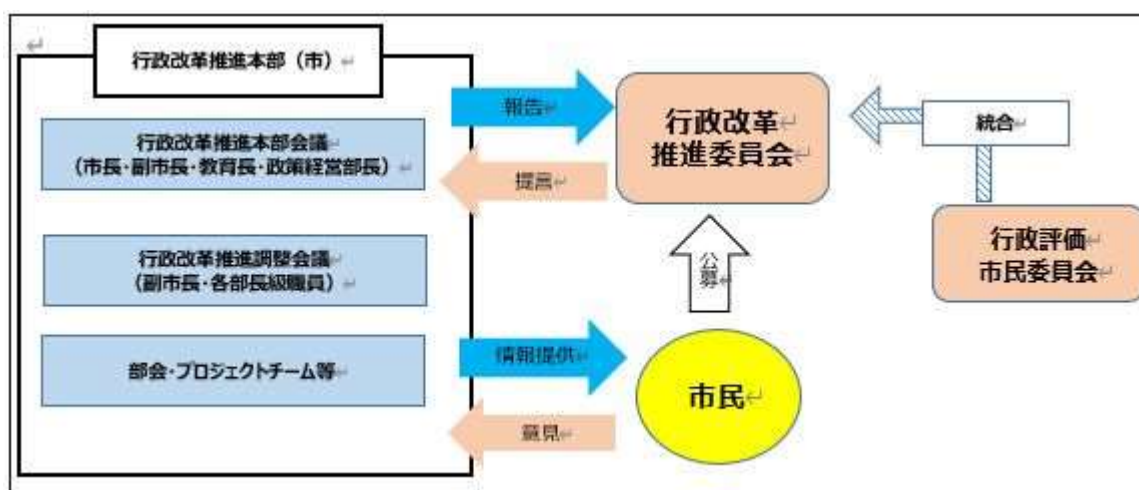
市民の視点からの評価を行うことにより、行政評価の客観性及び透明性を高め、もって公平・公正な行政サービスを推進するために設置された附属機関。

平成24年度から設置（事務事業評価自体は平成21年度から実施）されており、委員数は6名（学識経験者2名、団体代表3名、公募1名）。

(2) 今後の取組について

- ア 第四次行政改革大綱策定（第三次行政改革大綱は令和4年度まで）
- イ 定数適正化及び組織機構改革の取り組み方針
- ウ 公の施設改革の取り組み方針（公共施設マネジメント）
- エ 行政評価 等

上記事項に対し、提言を行っていただきます。



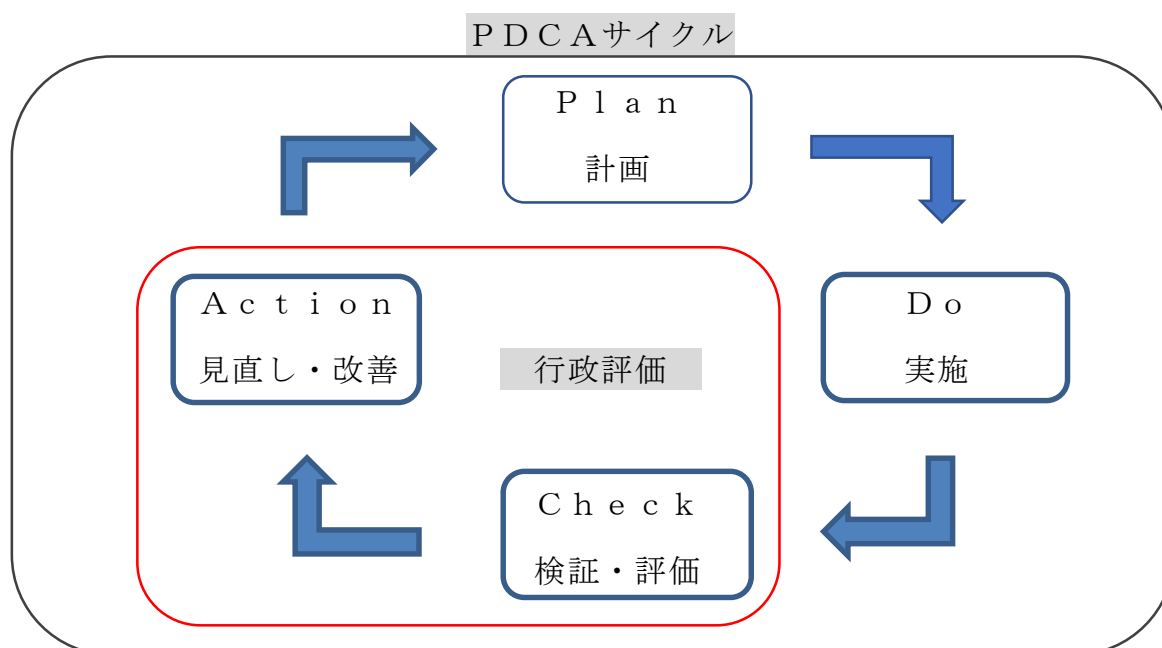
(3) 委員名簿

選出区分	推薦団体名	氏名	部会
公募市民	公募	たなか しゅういち 田中 秀一	第一部会
学識経験者	鹿児島大学法文学部	はやしだ よしえ 林田 吉恵	第一部会
	企業誘致アドバイザー	さいしょ あつし 税所 篤	第二部会
	社会保険労務士	たしろ ゆきお 田代 幸雄	第一部会
	出水市金融クラブ	うちの ともあき 内野 朋昭	第二部会
各種団体等 を代表する 者	鹿児島いずみ農業協同組合	まつぎき ゆうじ 松崎 裕治	第一部会
	出水商工会議所	にしの まさのり 西野 正憲	第一部会
	出水市自治会連合会	きりの けんいち 桐野 憲一	第一部会
	連合鹿児島北薩地域協議会	みうら たつお 三浦 辰男	第二部会
	さつま出水青年会議所	はたなか そういちろう 畠中 宗一郎	第二部会
	出水市女性団体連絡協議会	やの ミツ 矢野 ミツ	第二部会

2 行政評価の外部評価について

(1) 行政評価とは

行政の各分野で行われている各事務事業について、有効性、効率性、妥当性などの多角的な観点から評価を行い、「P l a n（計画）→D o（実施）→C h e c k（検証・評価）→A c t i o n（見直し・改善）と循環するP D C Aサイクルの中で、各事務事業の進捗状況や成果などの現状を認識し、明らかになった成果や課題等を次の計画や予算編成等に反映させるもので、行政の仕事を見直し改善していく取り組みのことです。



(2) 本市における行政評価

ア 第三次出水市行政改革大綱（平成30年4月公表）※別紙資料3

行政評価の取組みは大綱の柱の1つとして掲げられています。

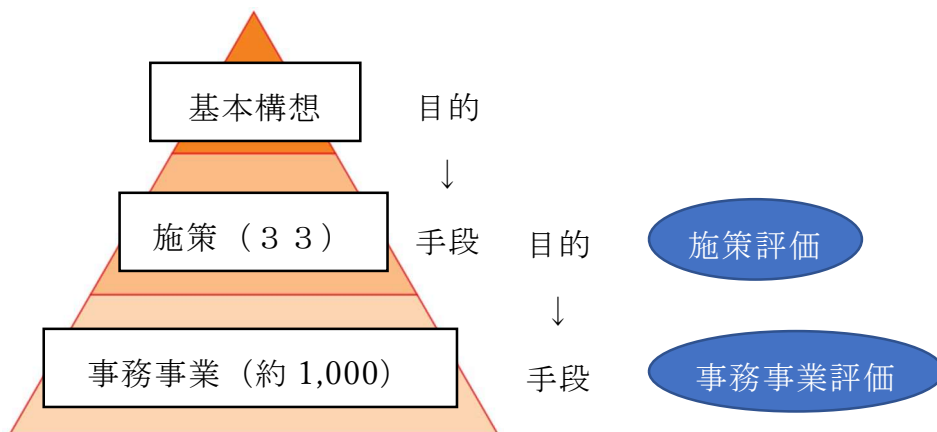
大綱の柱

1 市民視点の行政運営と健全な財政運営の両立（行政評価）

2 職員・組織・仕事の質の向上による組織の総合力向上（組織評価）

改革の目指すところは、市民の福祉増進と、職員にとって働きがいのある職場の構築です。

行政評価は、最上位計画である「出水市総合計画」の政策体系を基本に、「施策評価」と「事務事業評価」の二階建てで実施すること及び外部評価委員会を開催することが定められています。



二階建ての行政評価を実施

Point

行政経営を進める上で、最上位計画である総合計画の政策体系を基本に、

- 1 施策評価 … 政策レベルの評価
- 2 事務事業評価 … 事務事業レベルの評価

を実施し、政策と事務事業の関係性を明確に位置付けます。

	実施事項	対象
施策評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政策・施策目的の数値化 (将来ビジョンの明確化) ○ 事務事業の優先順位の決定 ○ 住民意識調査の分析 ○ 社会指標、統計データ指標分析 	<p>外部説明重視</p> <p>住民向け 議会説明等</p>
事務事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成果指標とコストによる現状分析 ○ 業務の自主改善 ○ 予算編成への活用 	<p>内部管理重視</p> <p>職員向け</p>

イ 第二次出水市総合計画の施策体系



ウ 外部評価について

第三次出水市行政改革大綱に規定

行政改革推進委員会

イ 外部評価委員会の開催

評価の客観性、信頼性、公平性確保の観点から、市民代表で構成する外部評価委員会を開催し、委員からの意見を評価に反映します。

(3) 今年度の外部評価について

33施策のうち、特に改善が必要と考えられる施策を選定し、改善の方向性についてご意見をいただきたい。

ご意見を踏まえ、事務事業を見直しを行う。

(4) 行政評価の流れ

事務事業評価	3月～6月
施策評価1（現状分析・課題認識）	7月
外部評価	8月～9月
事務事業見直し	8月～9月
施策評価2（今後の方向性）	9月～10月
最終評価	10月
次年度予算編成	11月～

(5) 各施策の評価点

施策評価1（現状分析・課題把握）による各施策の評価

基本方針		施策		評価点
1	人と自然が将来にわたって共生するまちづくり	1	自然環境の保全、自然との共生	△0.25
		2	上水道の充実	0
		3	下水道等の整備・充実、生活排水処理対策の推進	△1
		4	環境衛生・環境美化の推進	△0.5
2	都市基盤が整った機能性の高い快適なまちづくり	1	計画的な土地利用	0
		2	道路・港湾・交通ネットワークの充実	0
		3	河川・海岸等の保全・整備	0
		4	公園・緑地の充実	1
		5	市街地・宅地・住宅の充実	0.67
		6	総合的な危機管理・防災力の充実	0
		7	消防・救急体制の充実	1
		8	生活安全対策の充実	0.29
3	子どもから高齢者まで健やかに暮らせる支え合いのまちづくり	1	健康づくり対策と医療体制の充実	0.4
		2	子育て支援・児童福祉の充実	0
		3	高齢者福祉の充実	0.5
		4	きめ細やかな福祉の充実	0.2
4	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり	1	生涯学習の推進	0
		2	社会教育の充実	0
		3	学校教育の充実	0
		4	文化の振興	△1
		5	スポーツ・レクリエーションの推進	△0.5
5	地域の資源(たから)を生かした多様な産業でつくるにぎわいあるまちづくり	1	農林水産業の振興	0
		2	商工・サービス業の振興	0
		3	雇用の創出と安定、雇用環境の整備	0
		4	観光の推進	△2
		5	地域間交流・国際交流の推進	△1.5
		6	定住と市民交流の促進	1
6	市民と行政が協働するまちづくり	1	市民参画の推進	△1
		2	地域コミュニティの活性化	△0.25
		3	人権の尊重と男女共同参画の推進	0
		4	時代の変化に対応した行政運営体制の構築	0
		5	健全な財政運営の確保	0
		6	情報・通信基盤の整備	△0.33

(6) 外部評価の審議対象施策について

評価点がマイナス1点以下の5施策を対象とする。

- 下水道等の整備・充実、生活排水処理対策の推進
- 文化の振興
- 観光の推進
- 地域間交流・国際交流の推進
- 市民参画の推進

(7) 部会制での審議とスケジュール

1施策当たりの審議時間を確保するため、2つの部会に分かれて、5施策を分担して御審議いただく。

会議	形態	期日	内容
第1回	第一部会	令和3年8月23日	・行政評価の説明
	第二部会	同上	・外部評価施策の説明 ・委員から担当課へのヒアリング
第2回	第一部会	未定	・外部評価の意見のとりまとめ
	第二部会	未定	

※ 外部評価報告書のとりまとめは、書面で実施。

(8) 担当施策について

第一部会	<ul style="list-style-type: none">○ 下水道等の整備・充実、生活排水処理対策の推進○ 市民参画の推進
第二部会	<ul style="list-style-type: none">○ 文化の振興○ 観光の推進○ 地域間交流・国際交流の推進

3 外部評価の方法について

(1) 施策の基本方針を確認

各施策が、市民の生活をどう変化させたいか（目指す姿・目的）を御確認ください。この基本方針は、総合計画で規定されています。

出水市施設評価シート（評価対象： 2020 年度）																																																																																								
基本方針	人と自然が調和していきなり生活するまちづくり																																																																																							
施策	13 下水道等の整備・充実、生活排水処理対策の推進																																																																																							
主担当部	水道部																																																																																							
副担当部	下水道課、都市計画課																																																																																							
関係計画	公共下水道事業計画、特定環境保全公共下水道事業計画																																																																																							
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <h2 style="color: red; margin: 0;">基本方針</h2> </div>																																																																																								
<p>水道部での取り組みは、市民生活の向上を図るため、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。また、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。また、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。</p>																																																																																								
<p>1 専攻費、コスト及び評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">2018</th> <th colspan="2">2019</th> <th colspan="2">2020</th> <th colspan="2">2021</th> <th colspan="2">2022</th> </tr> <tr> <th>決算</th> <th>予算</th> <th>決算</th> <th>予算</th> <th>決算</th> <th>予算</th> <th>予算</th> <th>予算</th> <th>予算</th> <th>予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専攻費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>721,870</td> <td>668,433</td> <td>641,512</td> <td>657,600</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>直接事業費</td> <td>652,893</td> <td>621,026</td> <td>564,100</td> <td>580,188</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>68,977</td> <td>47,407</td> <td>77,417</td> <td>77,417</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>法人費(委託)</td> <td>6,5</td> <td>5,9</td> <td>9,6</td> <td>9,6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち一般財源</td> <td>479,704</td> <td>489,818</td> <td>512,737</td> <td>531,176</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	2018		2019		2020		2021		2022		決算	予算	決算	予算	決算	予算	予算	予算	予算	予算	専攻費							9	9	9	9	総事業費	721,870	668,433	641,512	657,600							直接事業費	652,893	621,026	564,100	580,188							人件費	68,977	47,407	77,417	77,417							法人費(委託)	6,5	5,9	9,6	9,6							うち一般財源	479,704	489,818	512,737	531,176						
年度	2018		2019		2020		2021		2022																																																																															
	決算	予算	決算	予算	決算	予算	予算	予算	予算	予算																																																																														
専攻費							9	9	9	9																																																																														
総事業費	721,870	668,433	641,512	657,600																																																																																				
直接事業費	652,893	621,026	564,100	580,188																																																																																				
人件費	68,977	47,407	77,417	77,417																																																																																				
法人費(委託)	6,5	5,9	9,6	9,6																																																																																				
うち一般財源	479,704	489,818	512,737	531,176																																																																																				
<p>2 評価指標の状況（各年度の計画を達成した評価値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>未達成</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目標の達成率: -1.00</p>		年度	2018	2019	2020	達成				未達成																																																																														
年度	2018	2019	2020																																																																																					
達成																																																																																								
未達成																																																																																								
<p>3 達成分析（達成理由）</p> <p>下水道事業は、市民生活の向上を図るため、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。また、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。また、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。</p>																																																																																								
<p>4 施策の方向性</p> <p>下水道事業は、市民生活の向上を図るため、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。また、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。また、下水道及び生活排水処理対策の推進を図ります。</p>																																																																																								

(2) 指標を確認

各施策が目指す姿の達成状況を評価できるよう指標を設けています。

各指標の評価点の良し悪しを御確認ください。

特に点数がマイナスの指標は、市の取組を見直す優先性が高い分野であることを示しています。

評価指標		目指す姿	達成	指標名	根拠・算出方法等	区分	評価	評価点	単位	2018	2019	2020	2021	2022	最終	
1	下水道が普及している	B		汚水処理人口普及率	接続人口/処理区域人口	評価	△	0	%	計画	91	92	93	94	95	目標
										実績	91.6	91.8	92.0			年度
2	施設が適正に維持管理されている	B		収収率	年間有収水量/年間総処理水量	評価	×	-2	%	計画	91	91	91	91	91	目標
										実績	90.5	90.4	88.1			年度
3	自然災害による浸水被害がない			雨水排水対策事業進捗率	整備済面積/計画区域面積	参考		0	%	計画		31.4	31.7	31.7	31.7	目標
										実績	31.4	31.7	31.7			年度

ア 難度

評価対象年度での計画値達成の難易度

- A：高い目標への挑戦
- B：積極的な取組がなければ達成できない
- C：現状の取組を続けることで達成可能

イ 区分

評価（評価指標）：施策の成果を評価する指標
 参考（参考指標）：評価には用いないが、把握しておきたい指標

ウ 評価

基本的に評価対象年度（2020年度）の計画に対する実績で評価します（事後評価）。ただし、最新の情報で実績の良し悪しが分かっている場合は、それも加味して評価します（事中評価）。

◎：大きく達成
 ○：達成、達成と同等
 △：未達成（進捗は認められる）
 ▼：未達成（あまり進捗がない）
 ×：未達成（悪化している）

エ 評価点

難度と評価の組み合わせで算出

	◎	○	△	▼	×
A	3	2	1	0	-1
B	2	1	0	-1	-2
C	1	0	-1	-2	-3

(3) 現状分析（課題認識）を確認

指標の評価結果を受け、担当部長が、どのように市の取組を見直していきたいと考えているかを記載しています。

出水市施策評価シート（評価対象：2020年度）

<p>基本方針 人と自然が親密にわたって共生するまちづくり</p> <p>施策 13 下水道等の整備・充実、生活排水環境対策の推進</p> <p>主担当部 水運部</p> <p>関係課 下水道課、都市計画課</p> <p>関連計画 公共下水道事業計画、特定地域健全公共下水道事業計画</p>	<p>施策の基本方針 特選で選ばれる生活環境や清らかな河川や海などの環境を築くため、下水道及び中核管網整備計画の推進を図るとともに、施設の適正な維持管理を行います。また、生活排水環境の整備を進め、自然環境による地域の魅力を創出に努めます。</p>																																																																																
<p>1 事業数、コスト及び財源 (金額：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">2018</th> <th colspan="2">2019</th> <th colspan="2">2020</th> <th colspan="2">2021</th> <th colspan="2">2022</th> </tr> <tr> <th>決算</th> <th>決算</th> <th>決算</th> <th>予算</th> <th>予算</th> <th>予算</th> <th>予算</th> <th>計画</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td>771,870</td> <td></td> <td>668,432</td> <td></td> <td>641,512</td> <td></td> <td>657,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>標準事業費</td> <td></td> <td>692,283</td> <td></td> <td>621,026</td> <td></td> <td>564,700</td> <td></td> <td>590,190</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td>88,917</td> <td></td> <td>41,407</td> <td></td> <td>77,412</td> <td></td> <td>77,412</td> <td></td> </tr> <tr> <td>法人費(注)</td> <td></td> <td>8.5</td> <td></td> <td>5.9</td> <td></td> <td>8.8</td> <td></td> <td>8.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち一般財源</td> <td></td> <td>479,704</td> <td></td> <td>488,815</td> <td></td> <td>512,737</td> <td></td> <td>531,175</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	2018		2019		2020		2021		2022		決算	決算	決算	予算	予算	予算	予算	計画	計画	事業数				9	9	9	9	9	9	総事業費		771,870		668,432		641,512		657,500		標準事業費		692,283		621,026		564,700		590,190		人件費		88,917		41,407		77,412		77,412		法人費(注)		8.5		5.9		8.8		8.8		うち一般財源		479,704		488,815		512,737		531,175		<p>4 外部評価（行政改革推進委員会） 公共下水道の整備・中核管網整備計画により、引き続き、下水道等の整備・充実及び生活排水環境対策を確実に推進してまいります。</p>
年度		2018		2019		2020		2021		2022																																																																							
	決算	決算	決算	予算	予算	予算	予算	計画	計画																																																																								
事業数				9	9	9	9	9	9																																																																								
総事業費		771,870		668,432		641,512		657,500																																																																									
標準事業費		692,283		621,026		564,700		590,190																																																																									
人件費		88,917		41,407		77,412		77,412																																																																									
法人費(注)		8.5		5.9		8.8		8.8																																																																									
うち一般財源		479,704		488,815		512,737		531,175																																																																									
<p>2 評価指標の状況（各年度の計画を達成した指標数）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>指標の評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; font-weight: bold;">-1.00</td> </tr> <tr> <td>未達成</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状分析（課題把握） 下水道事業は、市民生活の基盤として、市民生活の向上に不可欠なものである。また、水質汚濁防止法に基づき、排水処理施設の新築・改築が急務となっており、下水道事業の推進が喫緊の課題となっている。本年度は、下水道事業の推進を図るとともに、生活排水環境の整備を進め、自然環境による地域の魅力を創出に努めます。</p>	年度	2018	2019	2020	指標の評価点	達成	0	0	0	-1.00	未達成	0	0	0	<p>5 施策の方向性</p> <p>本年度(2022) 下水道事業の推進は、下水道の整備・充実を図るとともに、生活排水環境の整備を進め、自然環境による地域の魅力を創出に努めます。</p> <p>次年度(2023) 下水道事業の推進は、下水道の整備・充実を図るとともに、生活排水環境の整備を進め、自然環境による地域の魅力を創出に努めます。</p>																																																																		
年度	2018	2019	2020	指標の評価点																																																																													
達成	0	0	0	-1.00																																																																													
未達成	0	0	0																																																																														

(4) 事業一覧を確認

当該施策内で実施している事務事業の一覧です。

(5) 審議の方法

指標の成果を上げるため、事務事業をどのように見直すべきか御審議ください。

- 既存事業をどのように見直すべきか（拡大、見直し、縮小、廃止）
- 新しく取り組むべき事務事業はあるか（新設）

4 外部評価施策の説明

(1) 文化の振興

(2) 観光の推進

(3) 地域間交流・国際交流の推進

出水市施策評価シート（評価対象： 2020 年度）

基本方針	郷土を愛し文化を伝え豊かな心を育むまちづくり			施策の基本方針 ツルと武家屋敷に代表される数多くの有形・無形の文化遺産や伝統文化等を保存、活用し、歴史と文化が薫るまちづくりを推進します。 また、市民に芸術・文化に接する機会を提供し、文化団体等を育成するとともに、これらの活動拠点となる文化施設の機能維持と活用に努めます。		
施策	44	文化の振興				
担当	商工観光部	評価責任者	部長 春田 和彦			
関連課	文化財課、ツル博物館、生涯学習課、都市計画課					
関連計画	出水市教育振興基本計画					

1 事業数、コスト及び財源

（金額：千円）

年度	2018 決算	2019 決算	2020 予算	2021 予算	2022 計画
事業数			24	24	24
総事業費		351,808	321,858	326,360	313,498
直接事業費		282,829	259,745	259,498	247,073
人件費		68,979	62,113	66,862	66,425
投入職員数(正規)		8.5	7.7	8.3	8.2
うち一般財源		273,615	209,851	260,978	252,085

4 外部評価（行政改革推進委員会）

施設の利用人数を指標として設定しているが、過去の実績をもとに目標値を定めるだけでなく、どのぐらいの利用者数で当該施設の維持管理費が賄えるか、という視点も必要ではないか。

2 評価指標の状況（各年度の計画を達成した指標数）

年度	2018	2019	2020
達成	0	0	0
未達成	0	0	4

指標の評価点	-1.00
--------	-------

5 施策の方向性

	来年度（2022）	再来年度以降（2023～）
成果の方向性		
コストの方向性		

3 現状分析（課題認識）

- ・地域の歴史・文化等を正しく理解することは、文化向上発展の基礎であるが、本市歴史について一定の理解をしている市民は36.4%であり十分ではない。
- ・無形文化財は地域のきずなを守り育む活動でもあるが、年々活動が減っている。
- ・ツル博物館は、育児支援施設として活路を見出しているが、本来のツル博物館としてのニーズや費用対効果、博物館機能の規模を検証する必要がある。
- ・芸術文化は豊かな精神と人間性を育むために必要であるが、芸術文化に親しんでいる人は34.4%であり不十分である。
- ・総じて、特定の利用者のためではなく、多くの市民に利益が及ぶよう事務事業を見直していく必要がある。

出水市施策評価シート（評価対象： 2020 年度）

基本方針	地域の資源(たから)を生かした多様な産業でつくるにぎわいあるまちづくり			施策の基本方針 ツルや武家屋敷に代表される本市ならではの観光素材の更なる魅力アップに努め、戦争遺跡、体験型観光並びに特産品及びその加工品などの地域の多彩な観光資源と組み合わせることで、滞在型観光を推進するとともに、国内外へのプロモーション(※)や観光ホームページなどを活用した情報発信による誘客に努めます。 また、官民一体となった観光客の受入れ体制の整備・強化と地域の活性化につながるイベントや新たな観光資源の充実を図ります。 ※ プロモーション/誘客のための宣伝活動・広報活動	
施策	54	観光の推進			
担当当部	商工観光部	評価責任者	部長 春田 和彦		
関連課	ツル博物館、商工振興課、観光交流課、企画政策課、農林水産整備課				
関連計画					

1 事業数、コスト及び財源

(金額：千円)

年度	2018 決算	2019 決算	2020 予算	2021 予算	2022 計画
事業数			47	35	34
総事業費		127,473	227,045	165,328	106,865
直接事業費		57,797	150,412	83,636	59,881
人件費		69,676	76,633	81,692	46,984
投入職員数(正規)		8.6	9.5	10.1	5.8
うち一般財源		124,717	212,921	158,241	90,476

4 外部評価(行政改革推進委員会)

使用料不要の公共施設について、今後は修繕等維持管理に充てるため使用料を設定するという視点も大事である。 民間観光事業者が有する観光における安全面を考慮した資格や人材の活用も検討してほしい。

2 評価指標の状況(各年度の計画を達成した指標数)

年度	2018	2019	2020
達成	0	0	0
未達成	0	0	3

指標の評価点
-2.00

5 施策の方向性

	来年度(2022)	再来年度以降(2023~)
成果の方向性		
コストの方向性		

3 現状分析(課題認識)

・指標の結果が、新型コロナウイルス感染症が観光に与えた影響の大きさを表している。アフターコロナを見据えた取組が必要である。
 ・観光施策の目的は、市内経済の活性化であり、市内消費につながるものが求められる。長期的な行政経営資源(税金・人口)の減少に対応していくため、費用対効果が曖昧な事業は廃止していくとともに、事業の新設に当たっては費用対効果を十分に精査する。したがって、費用対効果の試算についての研究も必要となる。

出水市施策評価シート（評価対象： 2020 年度）

基本方針	地域の資源(たから)を生かした多様な産業でつくるにぎわいあるまちづくり			施策の基本方針	
施策	55	地域間交流・国際交流の推進			交通アクセスに恵まれた地域特性を生かし、近隣地域との連携や交流人口の増大を図るとともに、友好都市との交流を始め、農家民泊による修学旅行生の受入れなどのグリーン・ツーリズムやスポーツを通じた地域間交流を推進します。 また、姉妹都市との交流事業を始めとしてアジア諸国等との交流を進めるとともに、諸外国とツルに関する情報交換などを行い、国際交流を推進します。
担当	商工観光部	評価責任者	部長 春田 和彦		
関連課	観光交流課、企画政策課、商工振興課、生涯学習課				
関連計画					
備考					

1 事業数、コスト及び財源

(金額：千円)

年度	2018 決算	2019 決算	2020 予算	2021 予算	2022 計画
事業数			14	15	14
総事業費		87,395	27,708	50,965	17,936
直接事業費		22,861	12,191	28,974	12,535
人件費		64,534	15,517	21,991	5,401
投入職員数(正規)		8.0	1.9	2.7	0.7
うち一般財源		87,338	27,533	42,164	17,936

4 外部評価（行政改革推進委員会）

新型コロナウイルス感染症対策に係る新規事業が事業一覧に含まれていない。未来の方向性を見ていく意識づけのためにも事業として含める必要がある。

2 評価指標の状況（各年度の計画を達成した指標数）

年度	2018	2019	2020
達成	0	0	0
未達成	0	0	2

指標の評価点	-1.50
--------	-------

3 現状分析（課題認識）

- ・人の交流の増加が地域の発展・活性化を促進させるという仮定に基づく施策である。
- ・また観光以外の市外客を呼び込むことによる経済活性化も含む。
- ・したがって、本施策では、より多くの市外客を呼び込める事業、より多くの経済効果のある事業が求められる。市外客数を試算できない事業は実施しない。
- ・費用対効果があがらない、不明確な事業を廃止し、成果を意識した事務事業見直しを行う。各事業やイベントの費用対効果を評価するKPIを設定し、効果的な見直しにつなげる。
- ・指標の結果が、新型コロナウイルス感染症の影響の大きさを表している。アフターコロナを見据えた取組が必要である。

5 施策の方向性

	来年度（2022）	再来年度以降（2023～）
成果の方向性		
コストの方向性		